

高島屋が春物ファッションを本格展開スタート！

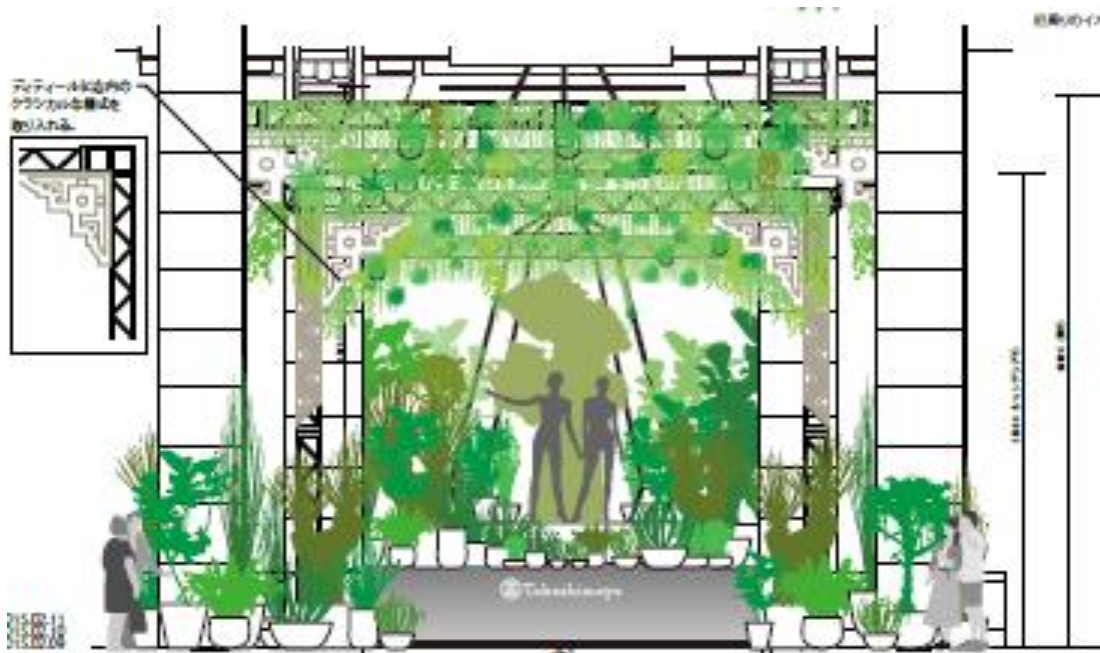
2015S&S ファッショントレンドは『ボタニカル柄』

プラントハンター西島清順氏が、植物で百貨店をジャック！！

3月12日（木）から 日本橋高島屋 1階 正面玄関ホール・ウィンドー

花や植物といった自然界にあるモチーフを取り入れたボタニカル柄。そのナチュラルでリラックス感のあるパターンは、今シーズン注目のファッショントレンドです。穏やかな雰囲気の中にも、静かな主張を感じさせるボタニカル柄は「2015spring&summer シーズン」で高い注目を集めているデザインです。草木や木の実、リーフや鳥など自然界のモチーフをあしらった柄は、トロピカルほど派手ではなく、若々しさやフレッシュなイメージ、遊び心といった要素を落ち着いたトーンで表現しているため、着こなしに取り入れやすいのが特徴です。

高島屋では、春物商品の本格展開にあわせてこのファッショントレンドを受け、大型各店を中心に植物による大胆な館内演出を実施（開催期間：2015/3/12～31）します。植物のディレクターには、今最も注目されているプラントハンター西島清順氏（そら植物園 代表）に依頼します。新種・珍種を含め、世界中からさまざまな植物を集め、希少性ある植物を大胆に使用した装飾を、重要文化財指定建築物の日本橋高島屋 1階正面玄関ホール、ウィンドーに施しお客様に春気分を満喫して頂きます。



日本橋高島屋 1階正面玄関ホール イメージ

■西島清順氏（にしはた・せいじゅん）プロフィール



1980年 生まれ。幕末より150年続く花と植木の卸問屋、花字の五代目。日本全国・世界数十カ国を旅し、収集している植物は数千種類。日々集める植物素材で、国内はもとより海外からの依頼も含め年間2000件もの案件に応じている。2012年、ひとの心に植物を植える活動"そら植物園"をスタートさせ、植物を用いたいろいろなプロジェクトを多数の企業・団体などと各地で展開、反響を呼んでいる。著書に "プラントハンター命をかけて花を追う" (徳間書店) "そらみみ植物園" (東京書籍) など。

■西島清順氏&そら植物園 プロジェクト事例

事例① 商業施設（代々木ビレッジ）

レストランやカフェ、雑貨店などの7つのショップが併設されている商業施設の敷地内に日本中の植物園や業者が手を組んでも全て揃えることはできないような各国ならではの植物が意図的にランダムに植えられています。



事例② 世界1周植物園（長崎ハウステンボス）



長崎ハウステンボスといえば、ヨーロッパ全体をテーマにした日本最大のテーマパークとして有名です。そこにある巨大プールを会場に世界1周植物園を期間限定で開催しました。

事例③ 国際的なパーティー（八芳園）



世界160カ国以上の全権特命大使や大使館関係者が中心に集まるパーティーが東京都白金台の八芳園で開催されました。そのパーティーの主催者からの依頼により、会場を世界中の植物でジャングル化しました。